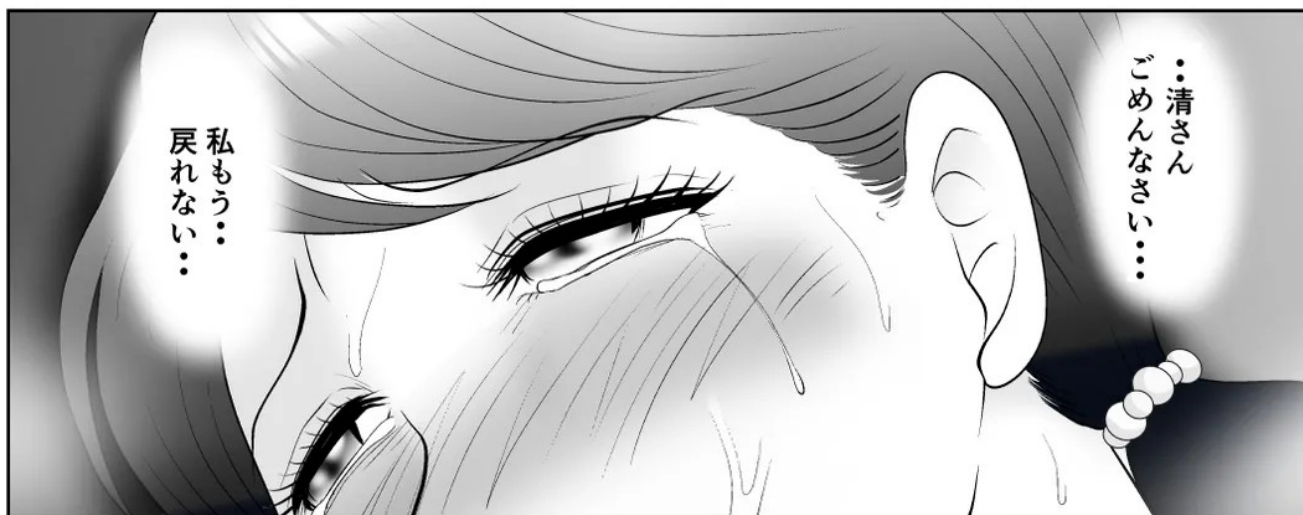
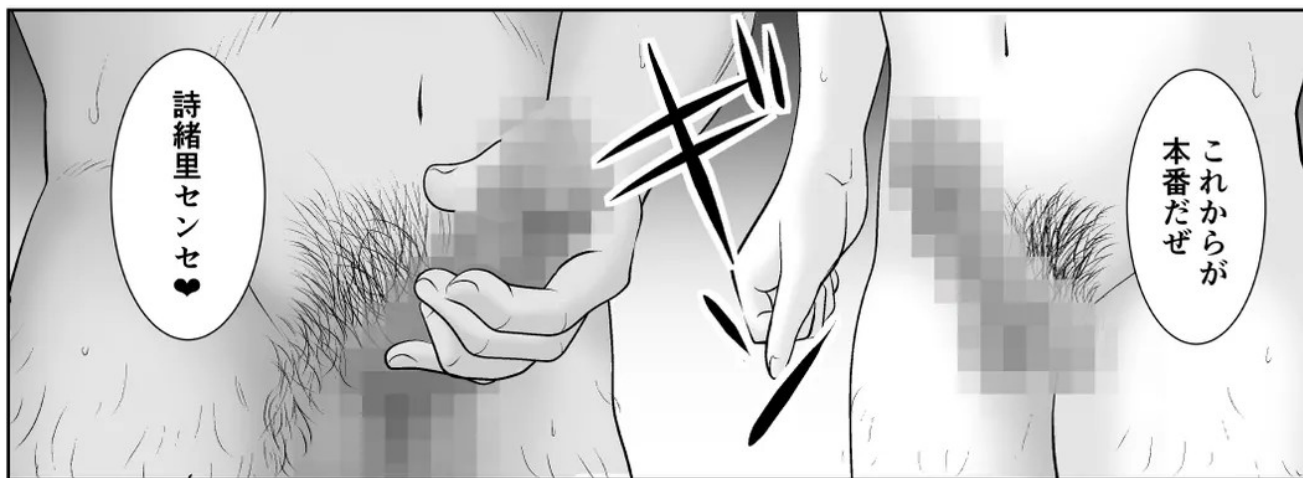








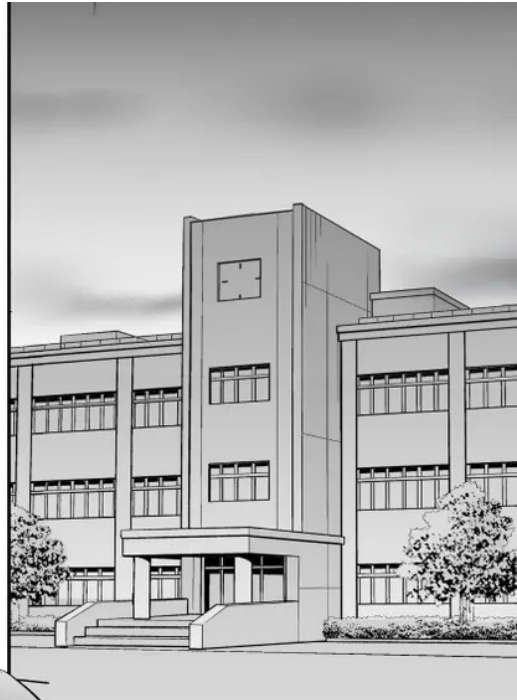
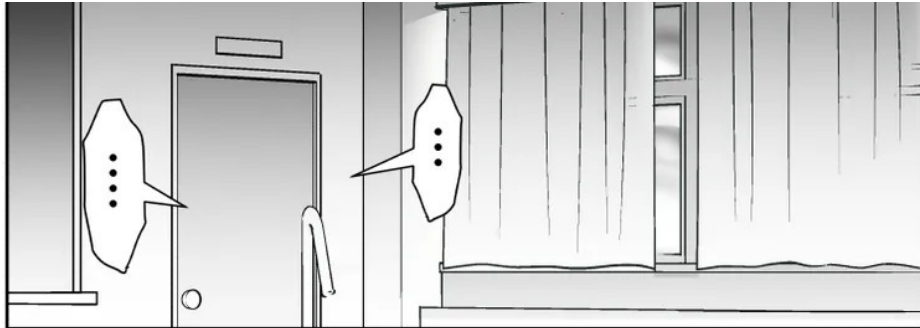


# 堕ちた 花嫁教師

(後編)

マドンナ  
～僕の大切な聖女先生は  
他人棒の虜になり  
肉欲の海に溺れていた～











そのままゆっくり  
腰を沈めて：  
自分からハメてみなよ  
先生：へへ：

ああ：

ずっと  
欲しかったものが  
ココにあるぜ：

あ…あああつ…

ズ  
ブ  
…

ズ  
ブ  
ブ  
…



へへ：婚約者以外の  
男のモノを  
とうとう啜え込んだしまったぜ  
先生：

おお 入ってるところ  
丸見え：  
イヤラシイ眺めだ：

ハア：

ああいや：  
そ：そんな所  
見ないで：

ハア：

クチュウッ：

ジッ：

嫌じゃねえだろ  
ずっと欲しかった  
癖に：

久しぶりの肉棒  
たっぷり  
味いいな：

グアイ：

ああああっ：

ズ  
ズ  
ズ









お：おお：  
いい：  
いいぜえ先生ッ：

こんなに  
絡みついて：身体の方は  
ダメとは  
言っていないぜッ：

ハアッ：  
ハアッ：

ハアッ：  
ハアッ：

ああ：ダ：  
ダメ：  
そんなにしたら：  
あああッ：

ああッ

ハアッ：  
ハアッ：

ああんッ

あ：あああッ：

ハアッ：

ハアッ：

あんッ：

ああんッ：

へへ：  
いい声出てきた  
じゃねえか：

ハアッ：



なにボサツと  
してんだよ  
先生の上のお口が  
空いてるぜ

ちゃんと  
楽しませてやれや・

あ・ああ  
そうだなっ・

ぐいばっ

ハアッ・  
ハアッ・

ハヒ・ハヒ・  
おお・  
イイイッ・

んむっ・

ぐいばっ  
ハアッ・  
ハアッ・

ハアッ・  
ハアッ・









よし次は俺だ…  
ケツ突き出せ  
俺も後ろから  
ハメてやんよ…へへ

ハア…

ハア…



や やった:  
とうとう憧れの  
詩緒里先生と  
ヤッタぞっ:

ああこれが:  
これが先生の:  
ああすげえっ:

ハアッ:  
ハアッ:

ハア:

ああっ:

あああ:

ど…ど…ど…

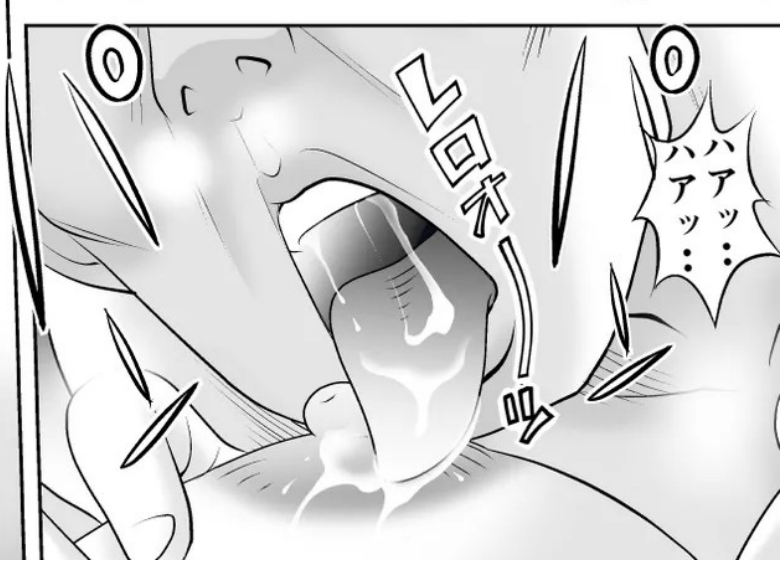
ああ  
入ってるッ:  
ああ気持ちいいッ:

ハアッ:  
ハアッ:

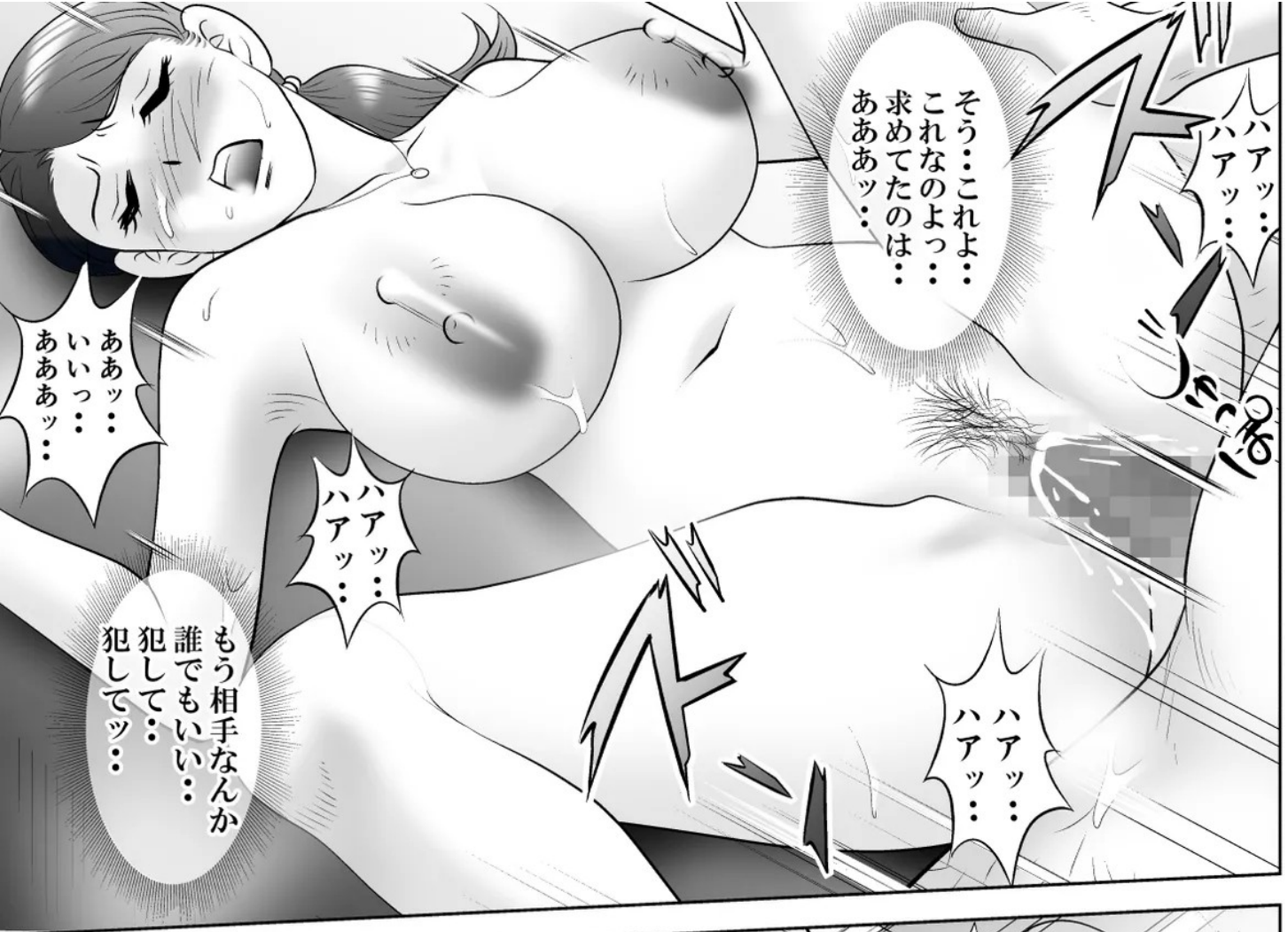




















すぬいっ

ああうっ...

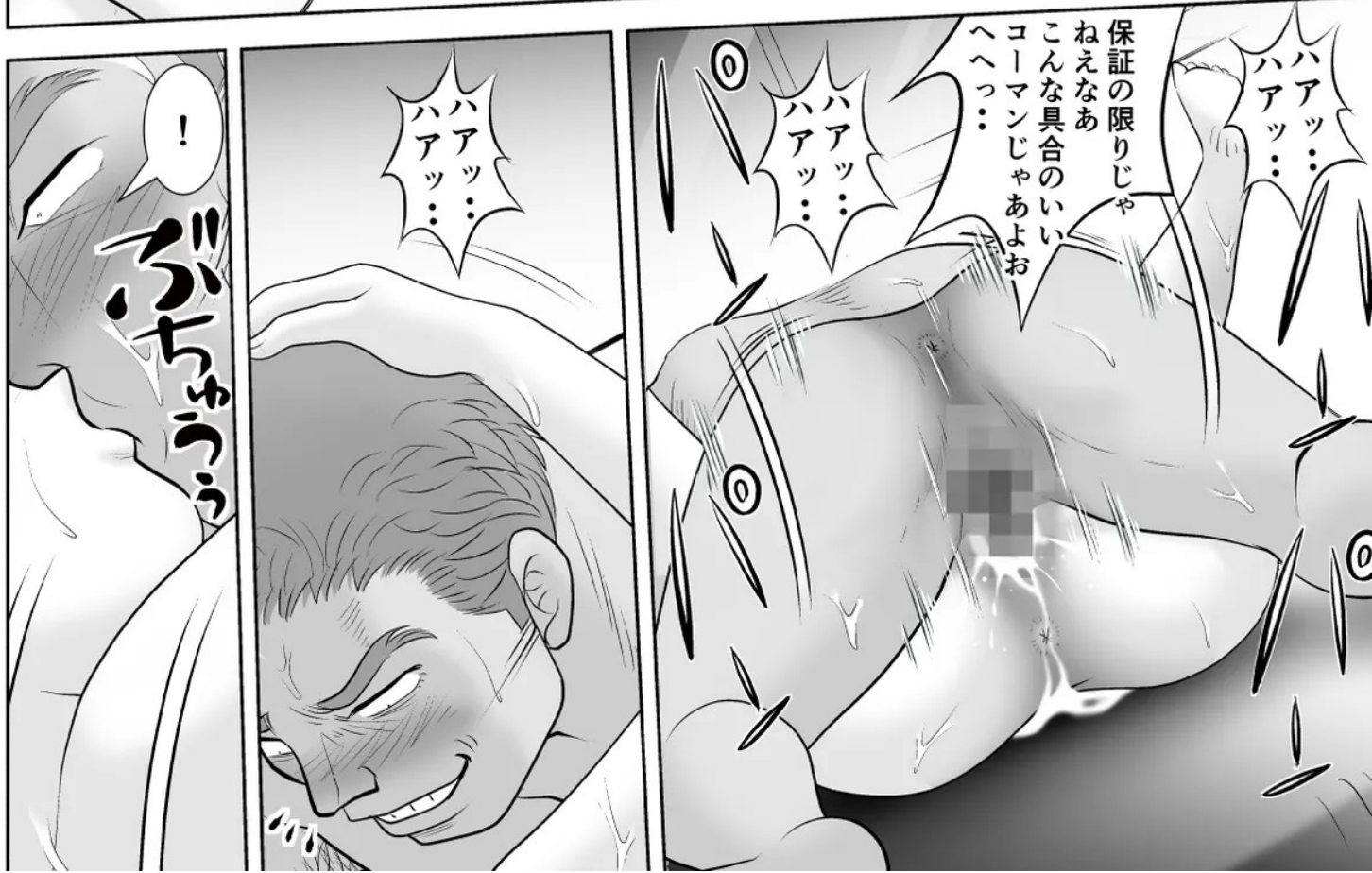
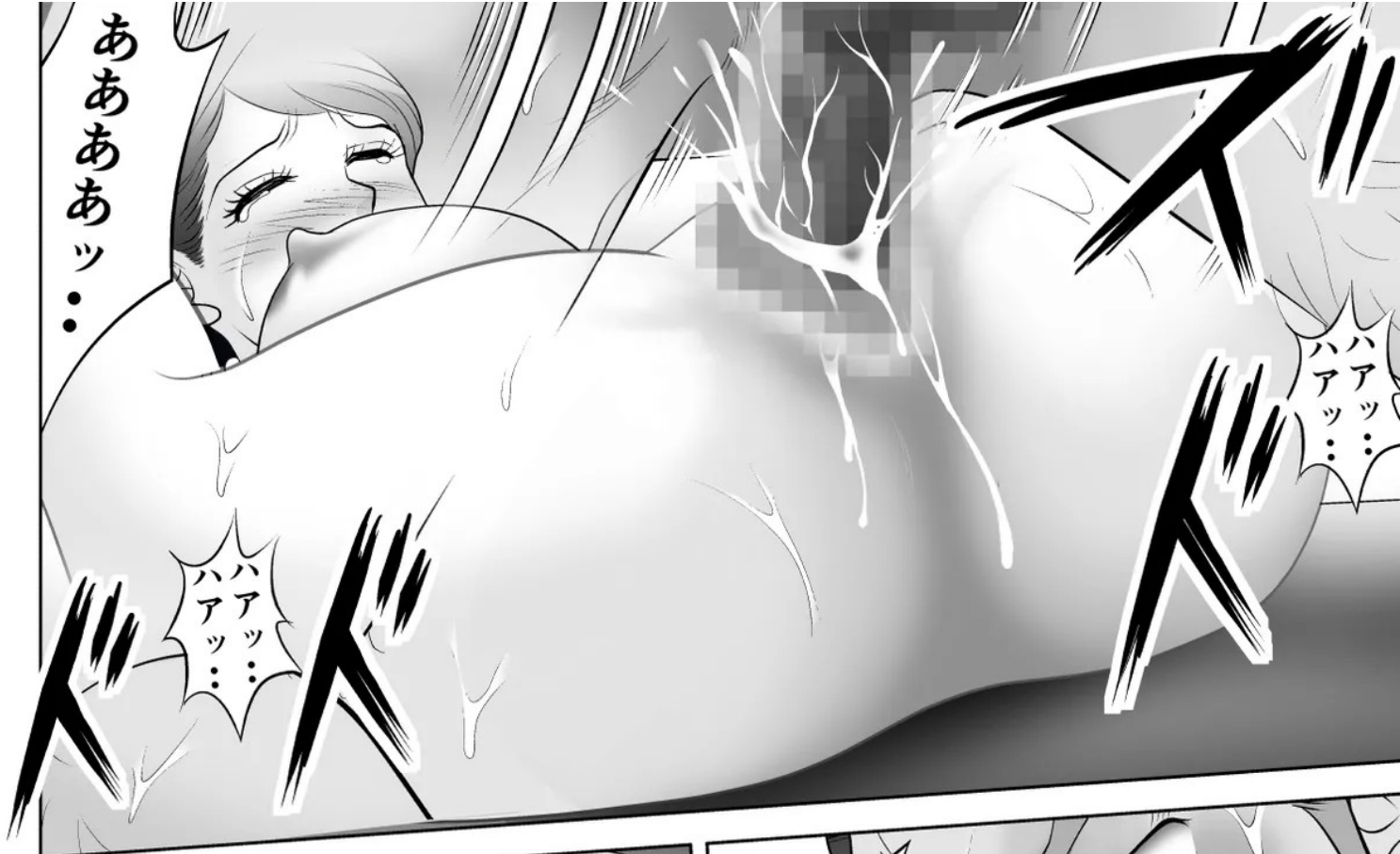
さ...さつきより  
大きい...ッ...

へへ...先生の  
エロい姿見てたら  
一段とデカく  
固くなっちゃったぜ...

あぁあぁあぁ...

...んもっ









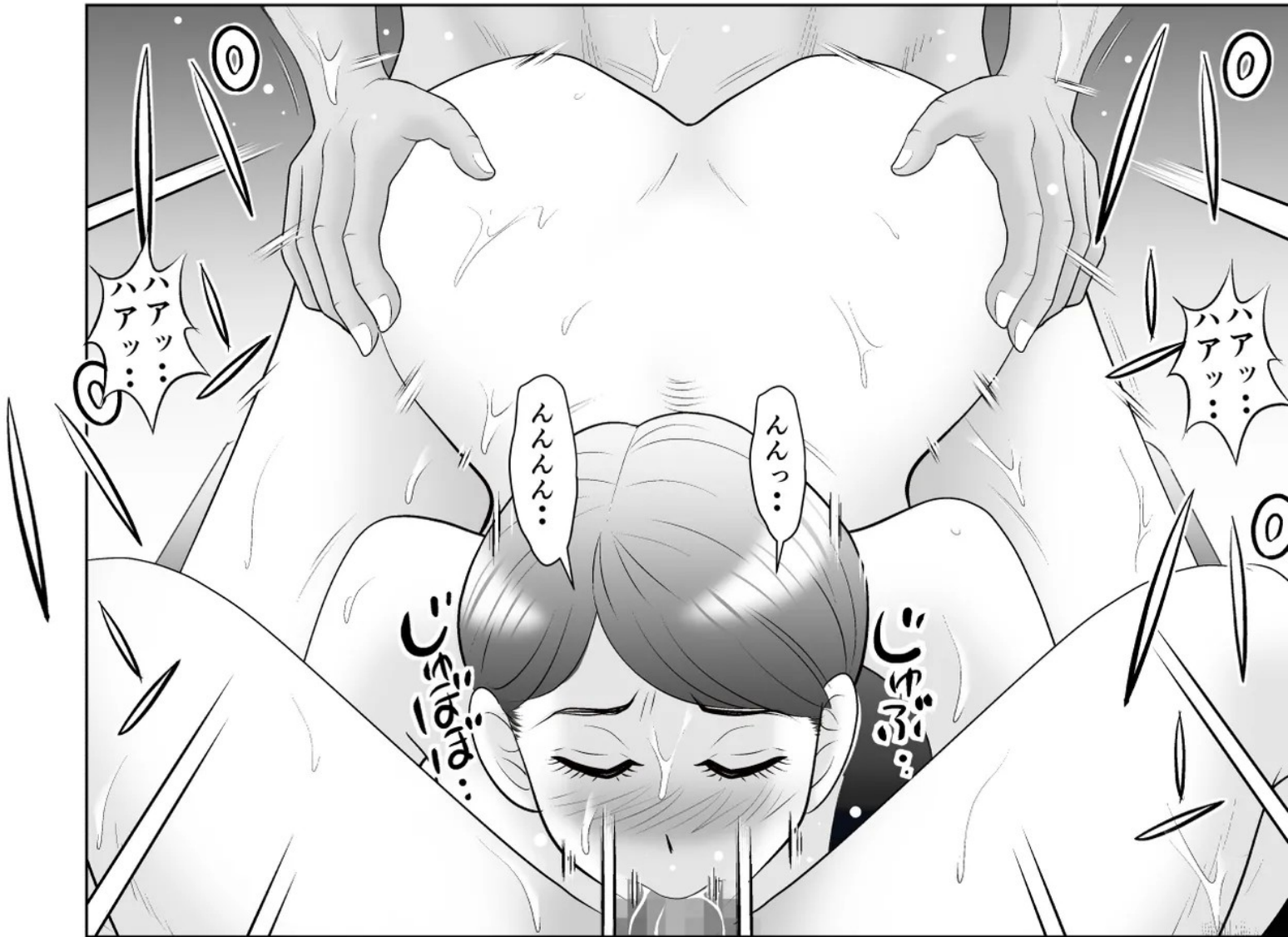
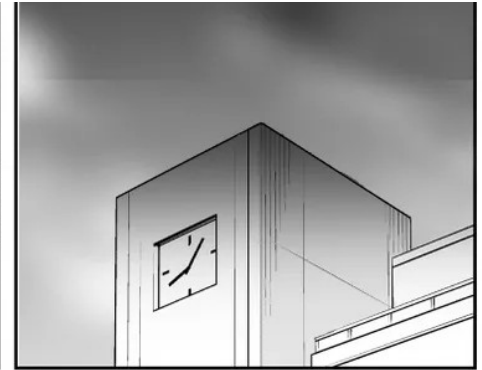
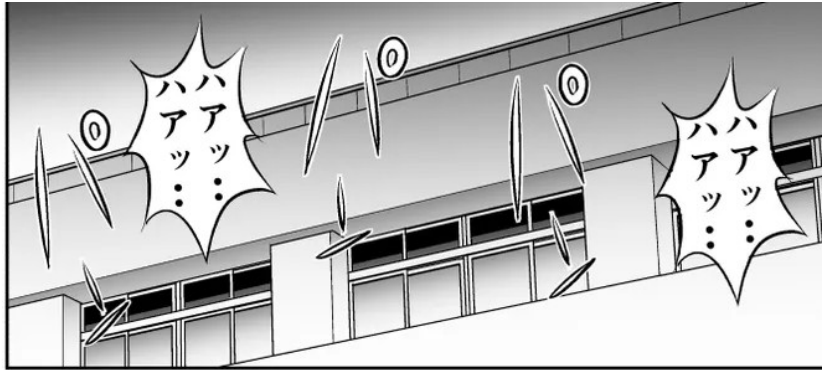




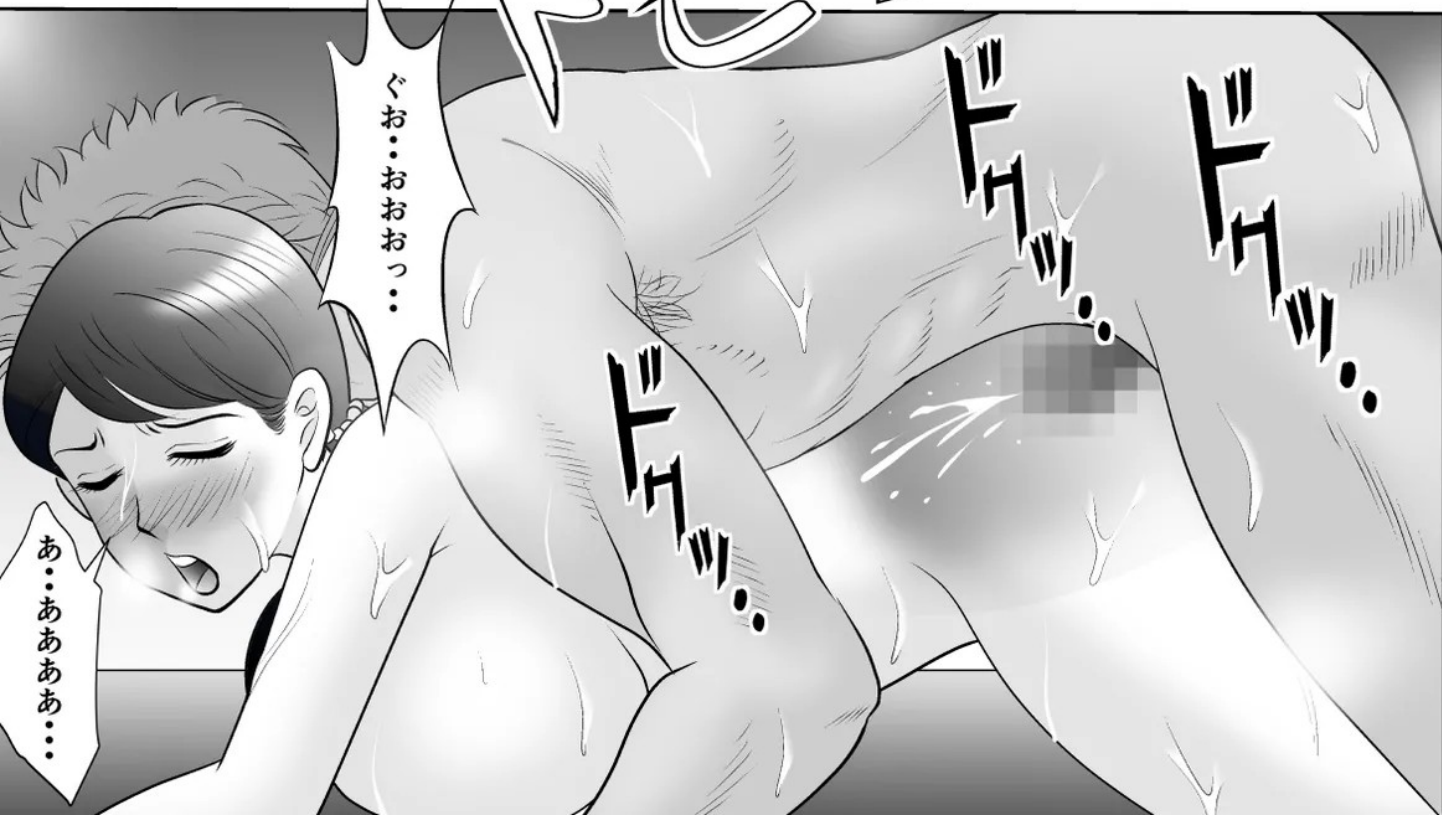




















その後も私は  
この下劣な男たちに  
何度も何度も犯された…

しかもそれを  
自ら望むように…

自分でも  
狂ってることは  
よくわかっていた…



でも  
欲求不満で  
乾ききった身体に  
押し寄せる  
異常な快楽の洪水は

私の理性を  
吹き飛ばすのに  
十分だった…



ハアッ…

ああんっ…

ハアッ…



もう  
「彼」のことは  
頭の片隅にも  
なかった：



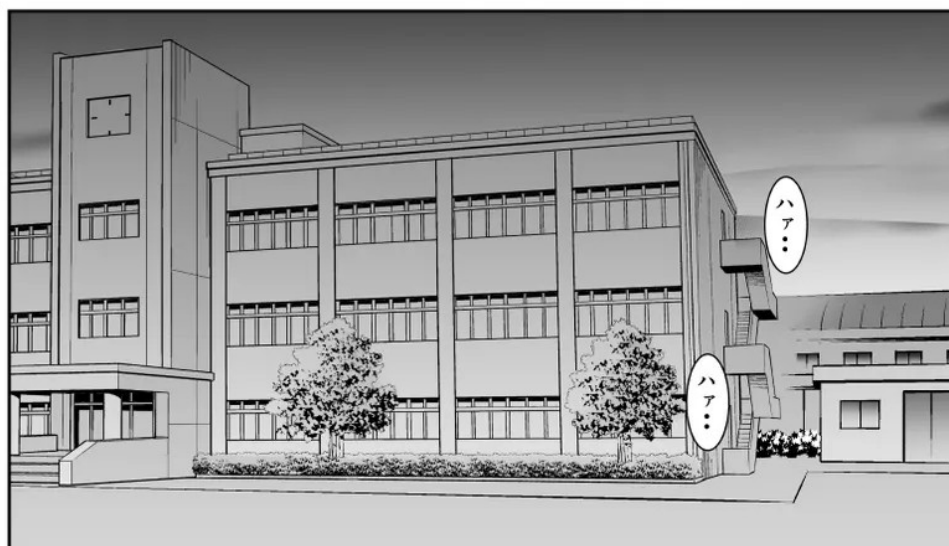
それから数日が経ち  
私は今でも  
何食わぬ顔で 教壇に  
立っている。

清楚で優しい女先生の  
仮面を被ったまま：

結婚式も  
あと一週間と迫り  
あとは当日 たくさんの人に  
祝福され 幸せな空間に  
二人して包まれるであろう  
その時を待つだけ：



でもそんな時でも 私は。。





「黒い誘惑」に抗えず

じゅっぽ

ああ…

ハアッ…

ああんっ…

ハアッ…

ハアッ…

清さんを今も  
裏切り続けている…

じゅっぽ

じゅっぽ





んんっ:

ハアッ:

ハアッ:

ハアッ:





ハアッ:

ああああ:

ハアッ:

あああんっ:

ハアッ:

へへ:  
いやらしい顔  
しやがって:

俺のチンポが  
そんなにいいのか  
詩緒里先生よお:

じゅっぽ

じゅっぽ

じゅっぽ

ああ…いいっ…

じゅっぽ

ハアッ…

桑原先生の  
おちんちん…  
奥まで入って…  
ああ気持ちいいの…

ハアッ…

じゅっぽ

ハアッ…

じゅっぽ

へへ…  
そうかい  
そうかい











へへ：ちよつと  
かわいそうになつてくるな：

大事な婚約者が  
毎日のように他の男に  
抱かれに来てること  
全く気付かねえなんてなあ：



ところで  
加納の奴は相変わらず  
気付いてねえのかい？  
俺たちの関係：

き：気付いてないと  
思う：多分：



図書室

日曜に  
加納がやつてる  
特別授業に  
三人で忍び込んで：



そりゃこの前の  
アレを見る限り  
とても気付いてる  
ようには見えねーよ

ああ  
図書室なのか：  
あれは傑作だったな



加納先生と  
詩緒里先生も  
浮気しないの？

ーえ？



この様に  
日本はシベリアで繁殖する  
鶴たちにとって  
大事な越冬地なんだ

あと 鶴は  
浮気しない鳥と言われてて  
つがいになると  
生涯パートナーを  
変えない、誠実な鳥なんだよ







それに詩緒里先生は  
みんなも知ってる通り  
外見だけじゃなく  
心もきれいな人だ

ちゅちゅ  
ちゅちゅ

ずいっ  
ずいっ

ぬいっ  
ぬいっ

ぐいっ  
ぐいっ

裏切ったりしたら  
罰が当たる

彼女もきっと  
そう思ってるはずさ  
僕は信じてる

ぐいっ  
ぐいっ  
ぐいっ







あとよかったのが  
プール実習の時な

ムッチムチの水着姿に  
コーファンしてたのは  
俺達だけじゃなかったが：

水着の中身までたっぷり  
堪能できるのは  
俺達だけの特権だ：  
へへ：









清さんの近くで  
「する」方が：  
普段より興奮してしまう：

罪悪感と  
背徳感と  
ギリギリのスリルで：  
どうかかなりそうなほど：

自分がこんなにも  
「悪い女」だったなんて：









僕がどうこうというより  
校内ですから：  
生徒に見られることも  
考えていただかないと：

わかってるって  
申し訳ない！  
へへへ：

ところで  
どうだった？  
俺の彼女：

もっとも  
詩緒里先生には  
かなわねえと思うけどな：

どうだい？  
先生の具合の方は：

桑原先生！

いや悪い悪いハハハ  
どーも俺は  
下品でいけねえな

あんな美人先生と  
結婚できる  
加納先生が  
羨ましくてよ へへ：

どうって：  
見てませんよ  
建物で隠れてたし：

そっかーでも  
ケツくらいは  
見えたろ？  
いーケツしてんだ  
これが

じゃ これから  
気をつけますから！  
校長には内緒に：ネ！  
へへへッ：

...

フフ：

かえーそーな男：  
フフフフ：

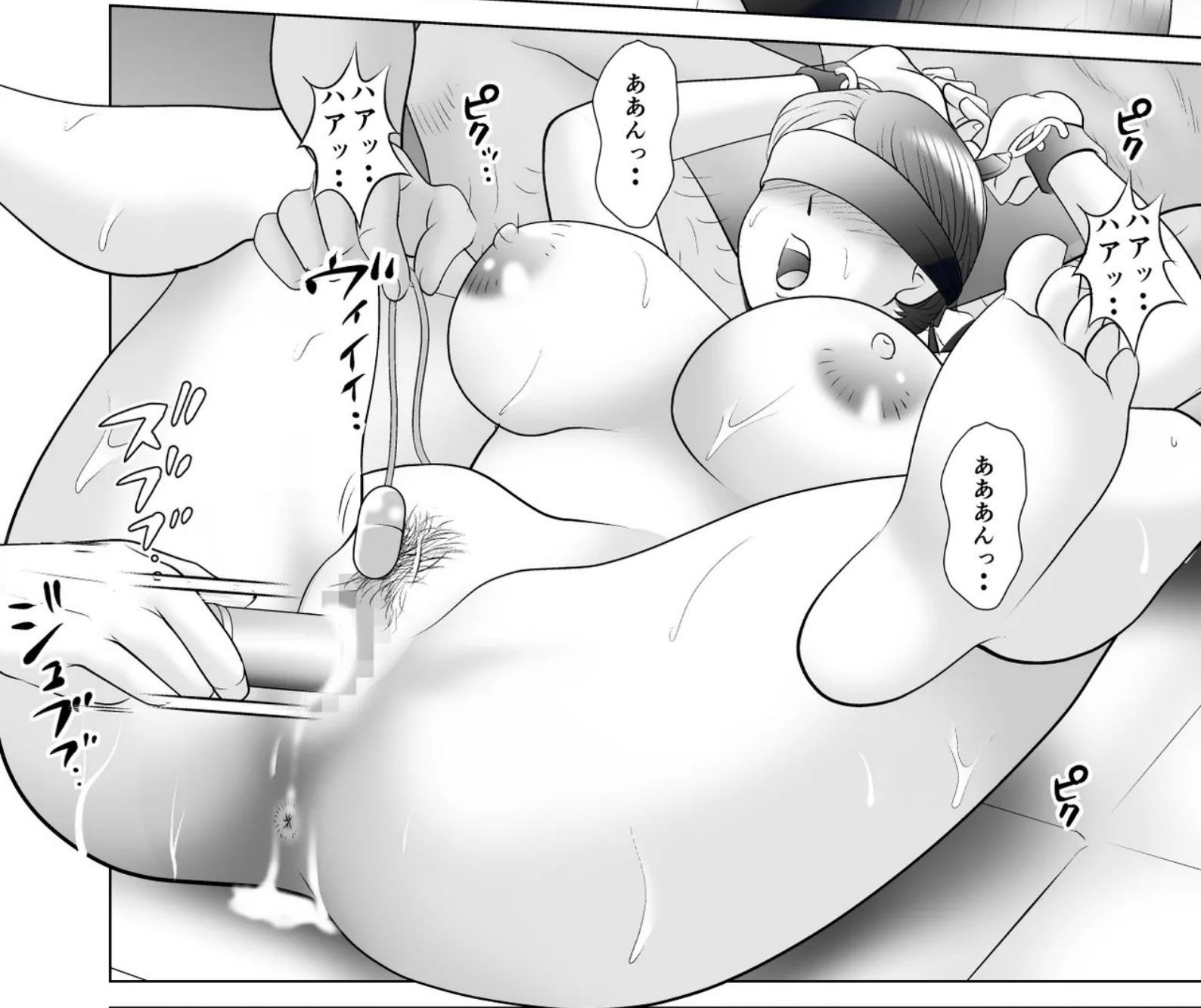
やつぱ  
気付いてなかったか：  
やられてたのが  
てめーの大事な  
婚約者だつてのも  
知らずに：

ハア：

ああああ：

ガハハハ：

ハア：





目隠しされると  
より興奮すんだろ  
：

婚約者にはとても  
見せらんねえ姿だぜ  
先生：

いやあ  
言わないでっ  
そんなこと：

ああいいっ  
イイイッ：

ニヤッ！

あああ  
イキそうっ：

ビクン！

ビク  
ビク：

イク：  
イクイクうつ：

グイイイ！

ぐちゃ

ぐちゃ



!! どうしてっ…  
いいや…もう…もう焦らすのは  
やめて…お願い…



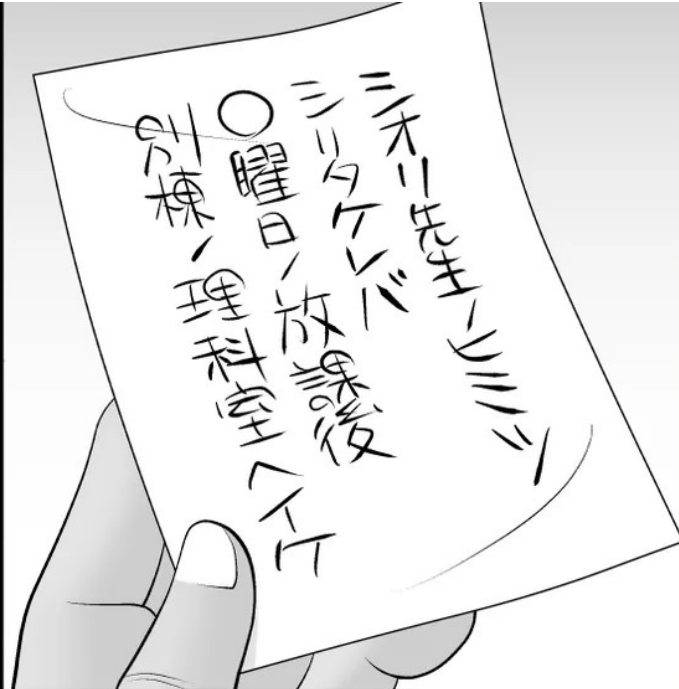
そこにいる奴  
入って来いよ！  
さっきから覗いてんの  
わかってんだぜ！

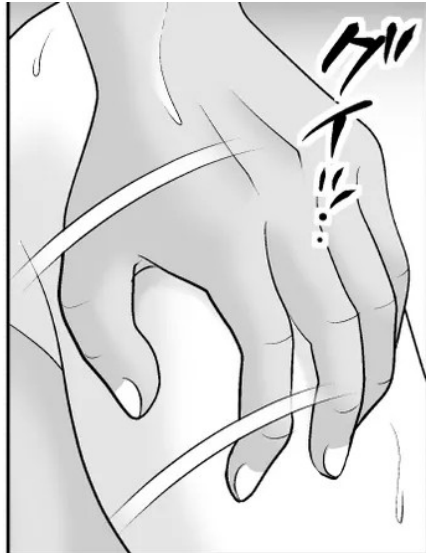












かわいさあまって  
なんとやら：  
だが愛しい詩緒里先生が  
俺たちにオモチャにされるのを  
みて：

興奮してたって  
わけだ：へへ：



可愛い義弟が  
見たがってんだ：  
間近で見せてやんなよ

！ああっ  
ダメっ：



いいや：  
貴志君の前では：  
やめてッッ：

いいから  
いいから：

！……

ああ  
いやああッ……



イキそうだったんだろ  
弟に見せてやんなよ  
女が感じると  
どうなるかってのをさ...

グイグイ...

いやあ  
そんなこと...  
ダメえっ...  
ああうっ...

ハアッ...  
ハアッ...

ああん  
いやああ...ん...

へへ...いい声  
出てきたじゃねえか...

ああ  
イイイツ...  
ダ...メえっ...

ああ貴志君...  
見ないでええっ...

ああああ...

ああああんっ...





フイイイ:

ほらいつもみたいに  
思い切り  
吹き出しちゃいなよ  
おとうと  
義弟の前で:へへ

も...もう  
ダ...メ...

ハアッ:  
ハアッ:

ああああつ...

ああ:  
あああんつ...

ググ  
ググ  
ズル  
ズル  
ズル

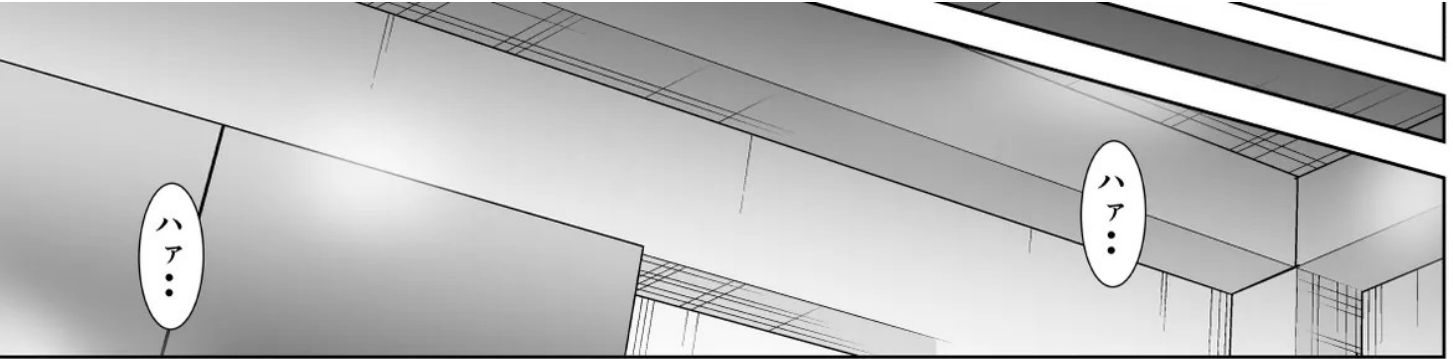
ズル  
ズル  
ズル

しゃああ

貴志君  
見てスススス...

ススススス...

















ハアッ：  
ハアッ：

ああっ：  
あんっ：

あああんっ：  
貴志くん：

ぬいっ

すいっ



そう：  
これが「セックス」…：  
これが「女」よ…：  
気持ちいい…？

貴志君のも  
こんなに硬くなつて…  
先生も、とっても  
気持ちいいよ…

あ：  
はあああ：  
先生ええっ…

すいっ

ぬいっ



はあ…

ああああ…

はあ…

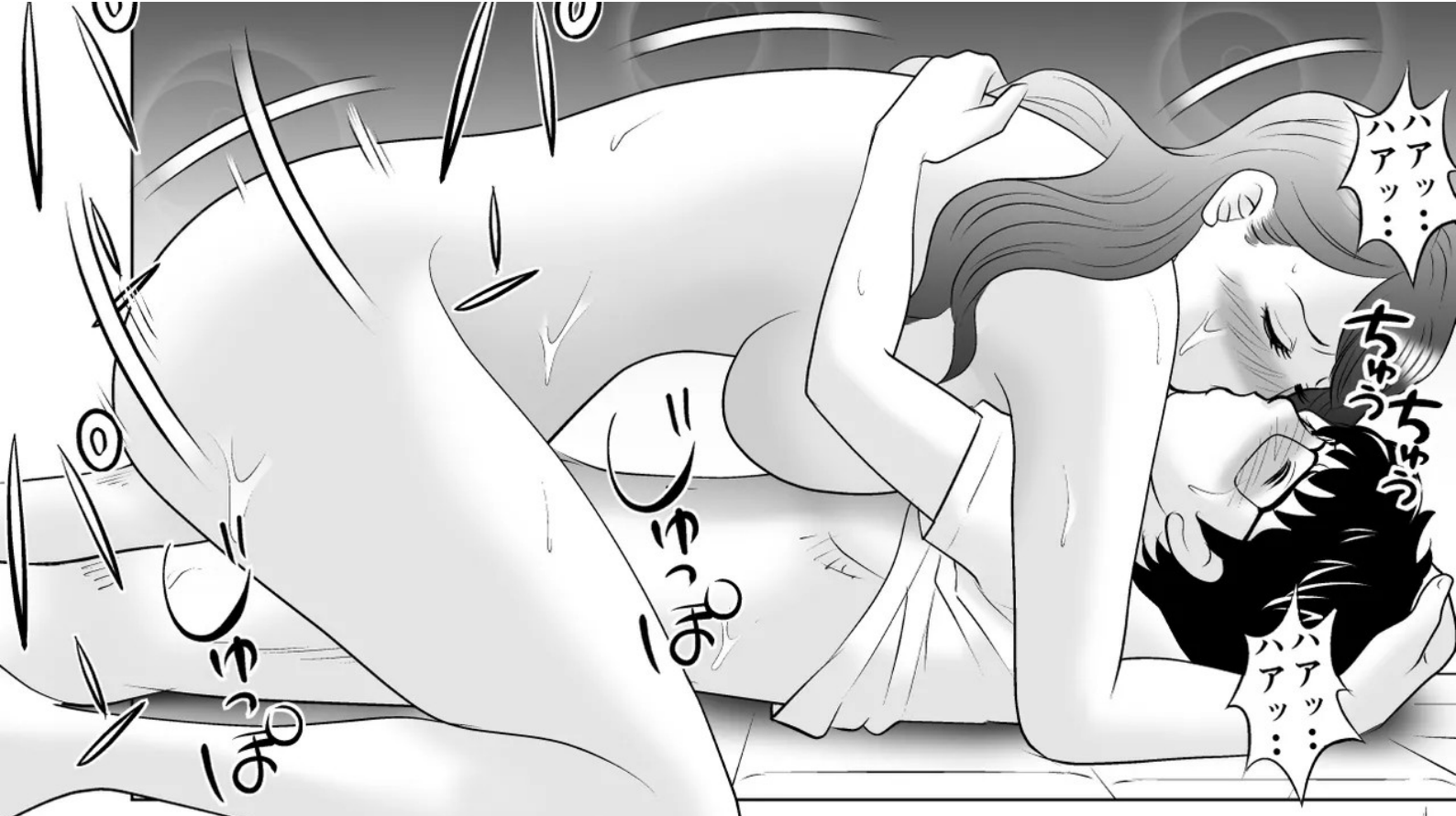
あああ…せ  
先生っ…



す…すごい…  
こ…これが…

すいっ







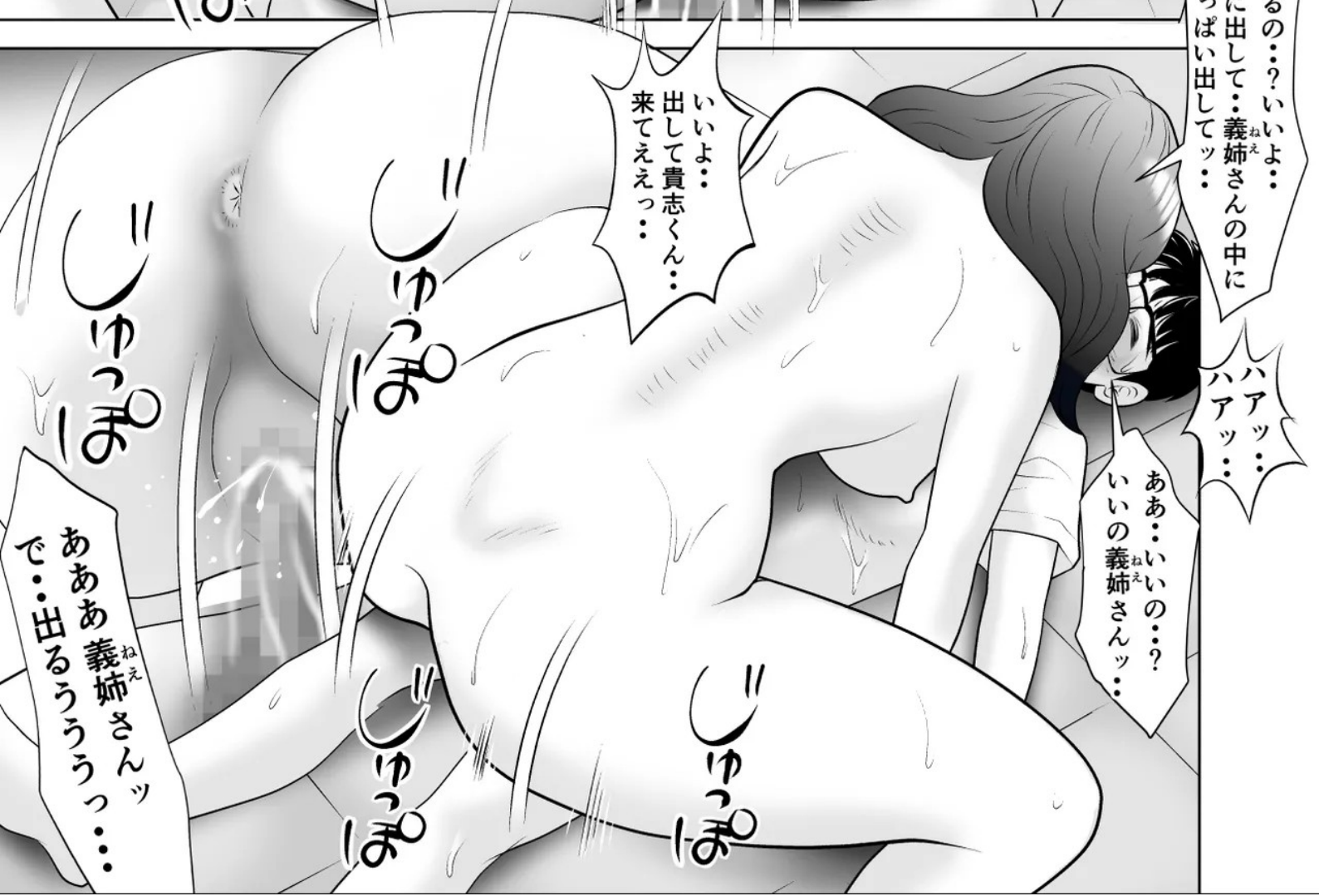


ああっ：  
貴志くん：  
貴志くんっ：  
イイ：イイイッ：

ハアッ：  
ハアッ：

ハアッ：  
ハアッ：

ああ 義姉さんッ：  
そんなにしたら：ああ：  
で：出ちゃう：



出るの：？いいよ：  
中に出して：義姉さんの中に  
いっぱい出してッ：

ハアッ：  
ハアッ：

ああ：いいの：？  
いいの義姉さんッ：

いいよ：  
出して貴志くん：  
来てええッ：

ハアッ：  
ハアッ：

あああ 義姉さんッ  
で：出るうううッ：





どう：貴志くん  
気持ちよかった：？

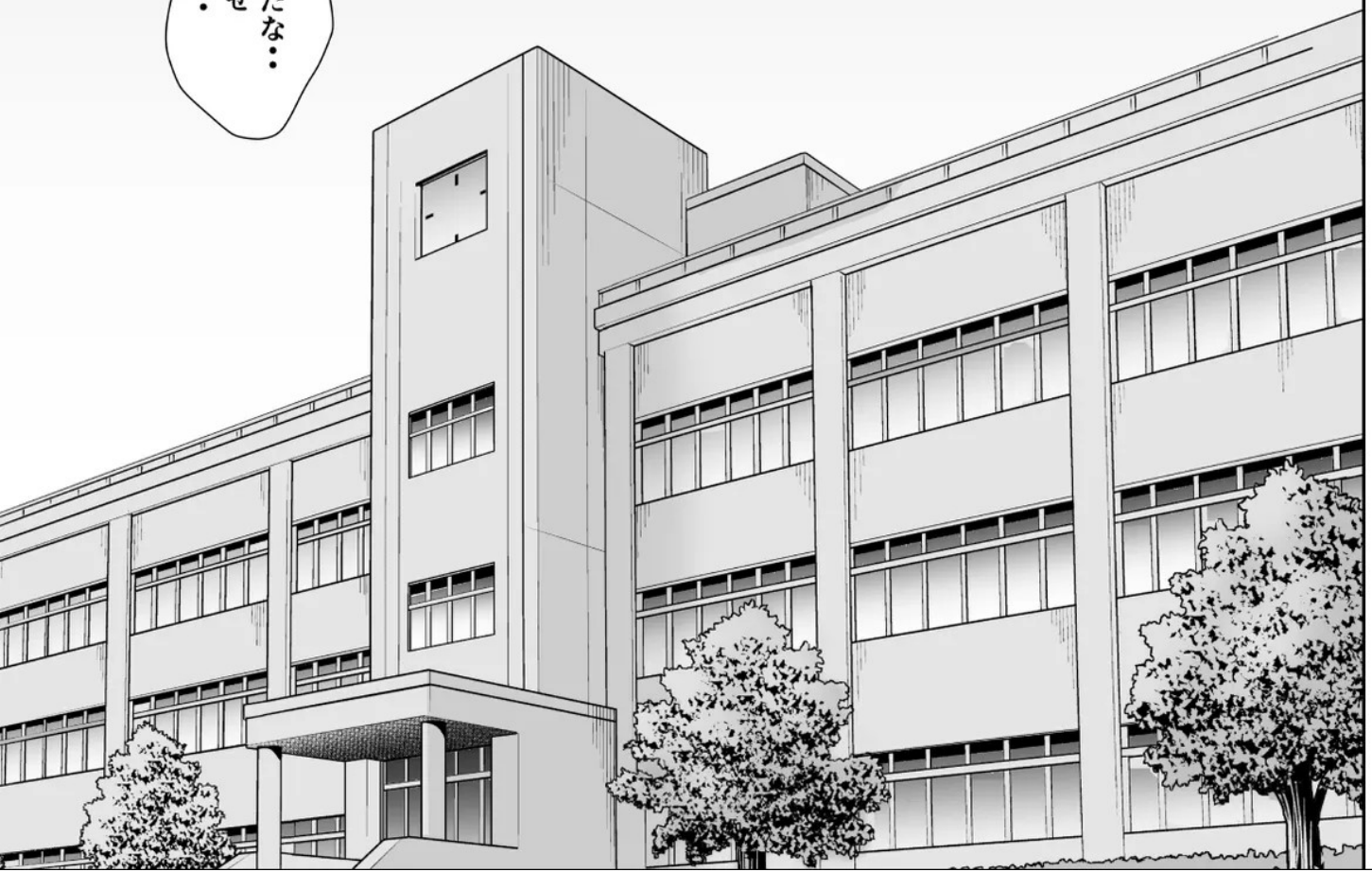
フフ：私も  
気持ちよかったよ：  
でも お兄さんには  
内緒にしようね：

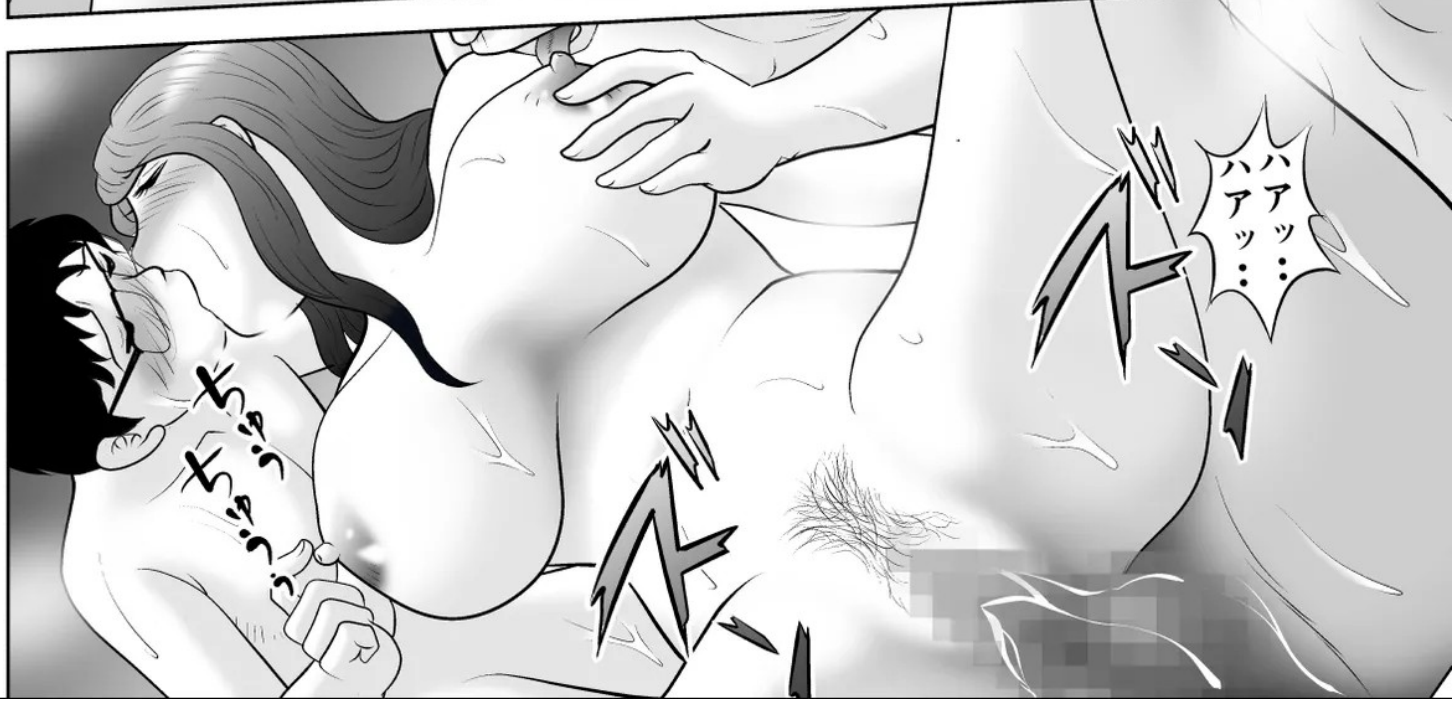
貴志くん  
たら：（笑）

うん！  
だから：また  
してもいい：？

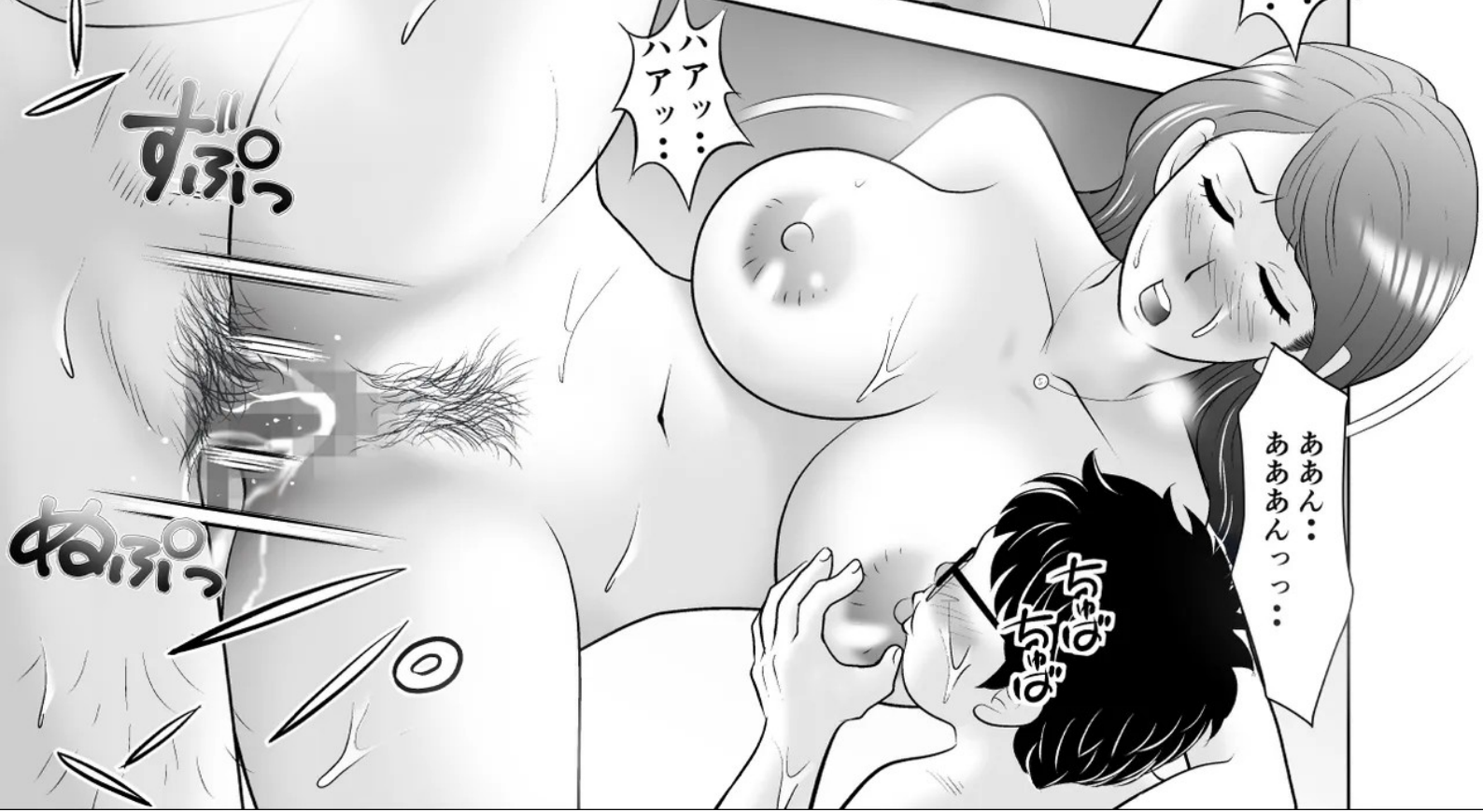
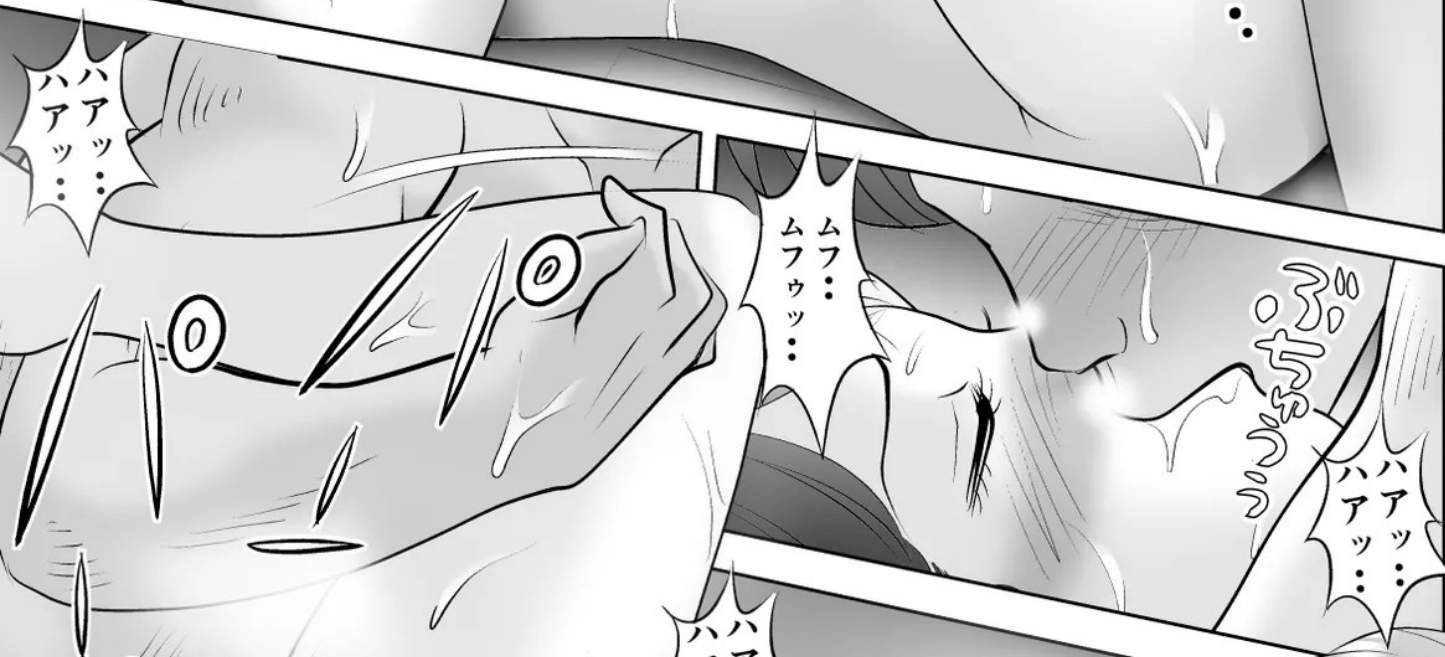
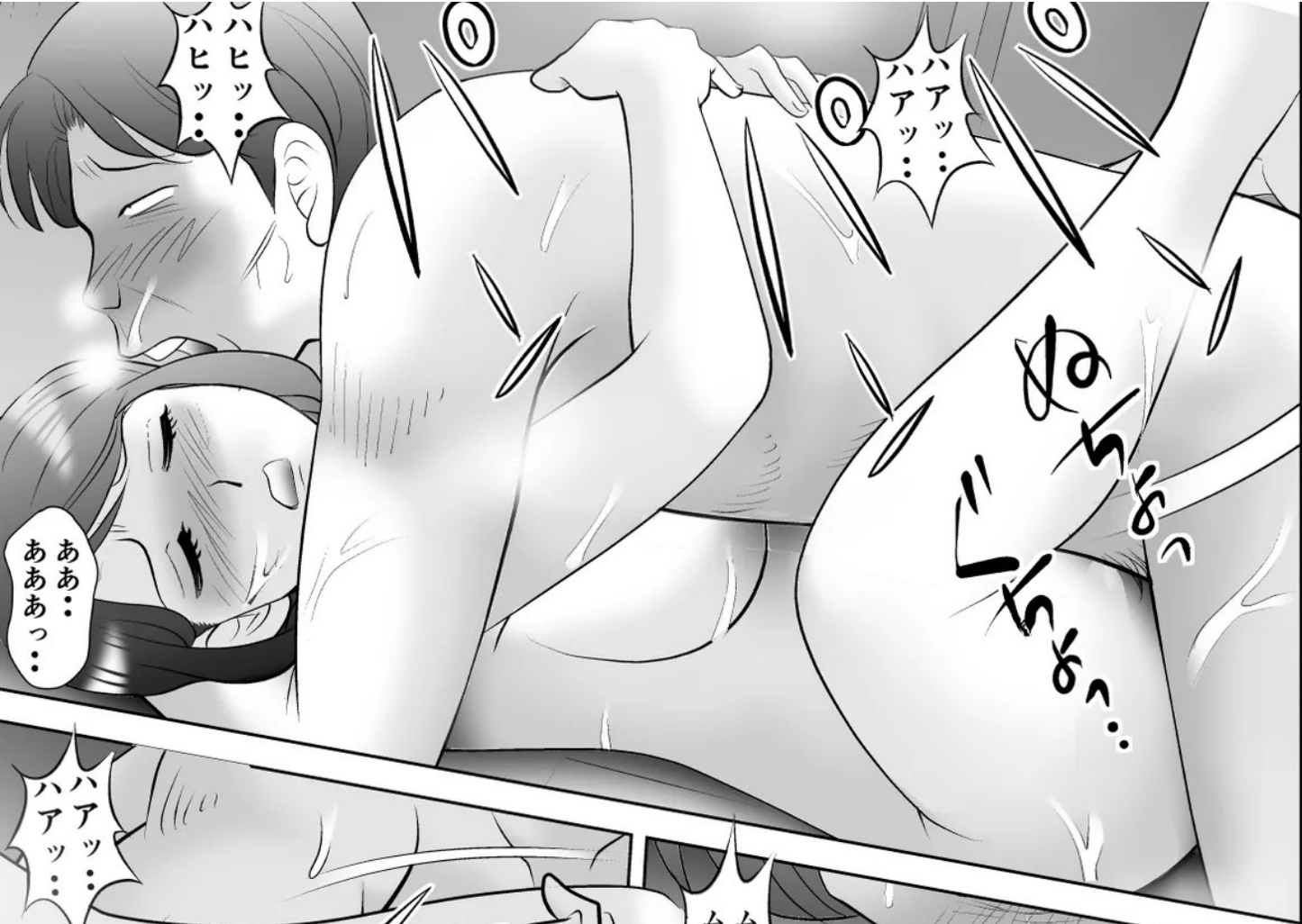
すごい：よかった：  
エッチってこんなに  
気持ちいいんだね：

これで  
俺ら全員共犯だな：  
仲良くしようぜ  
「兄弟！」へへ：

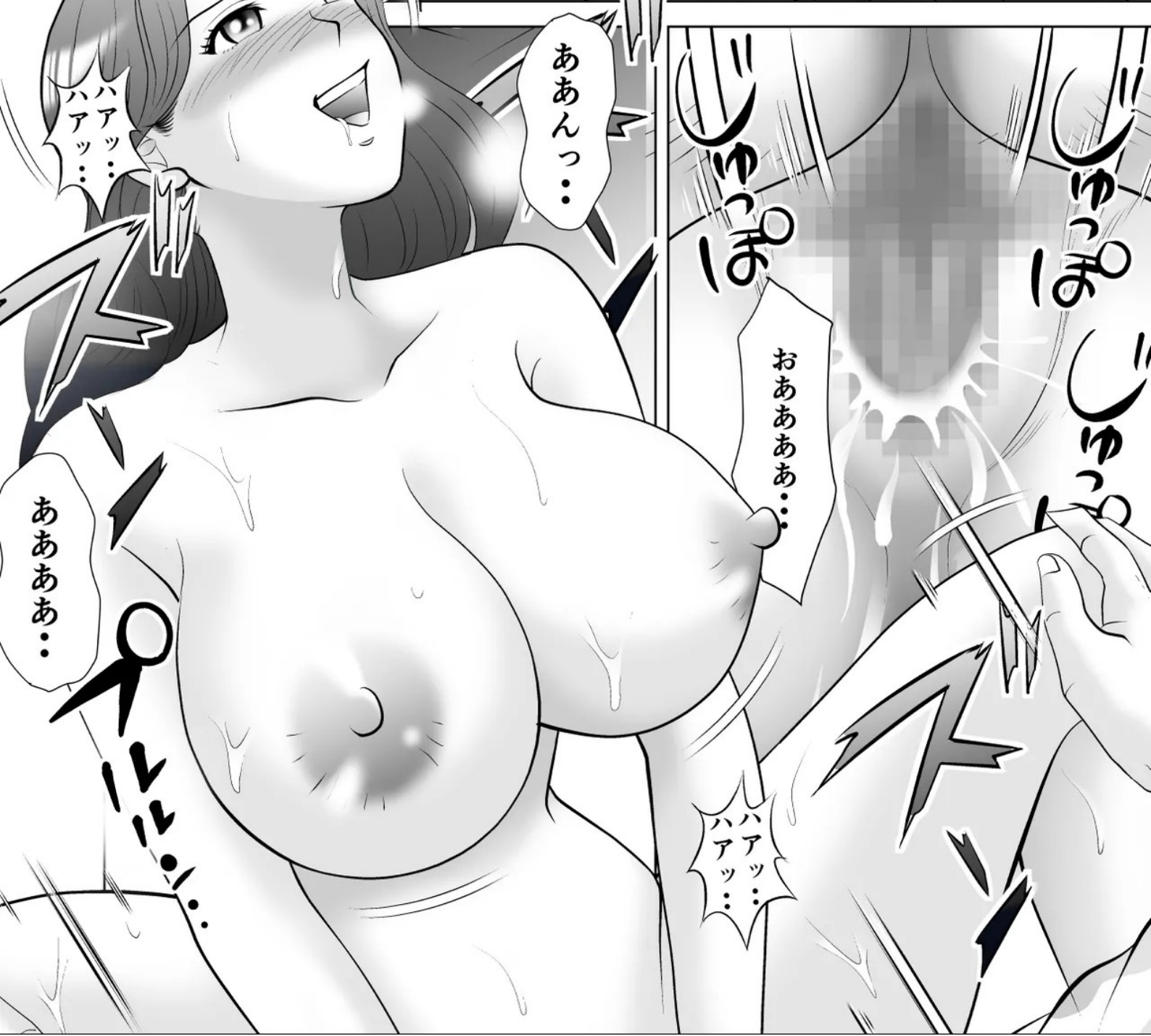
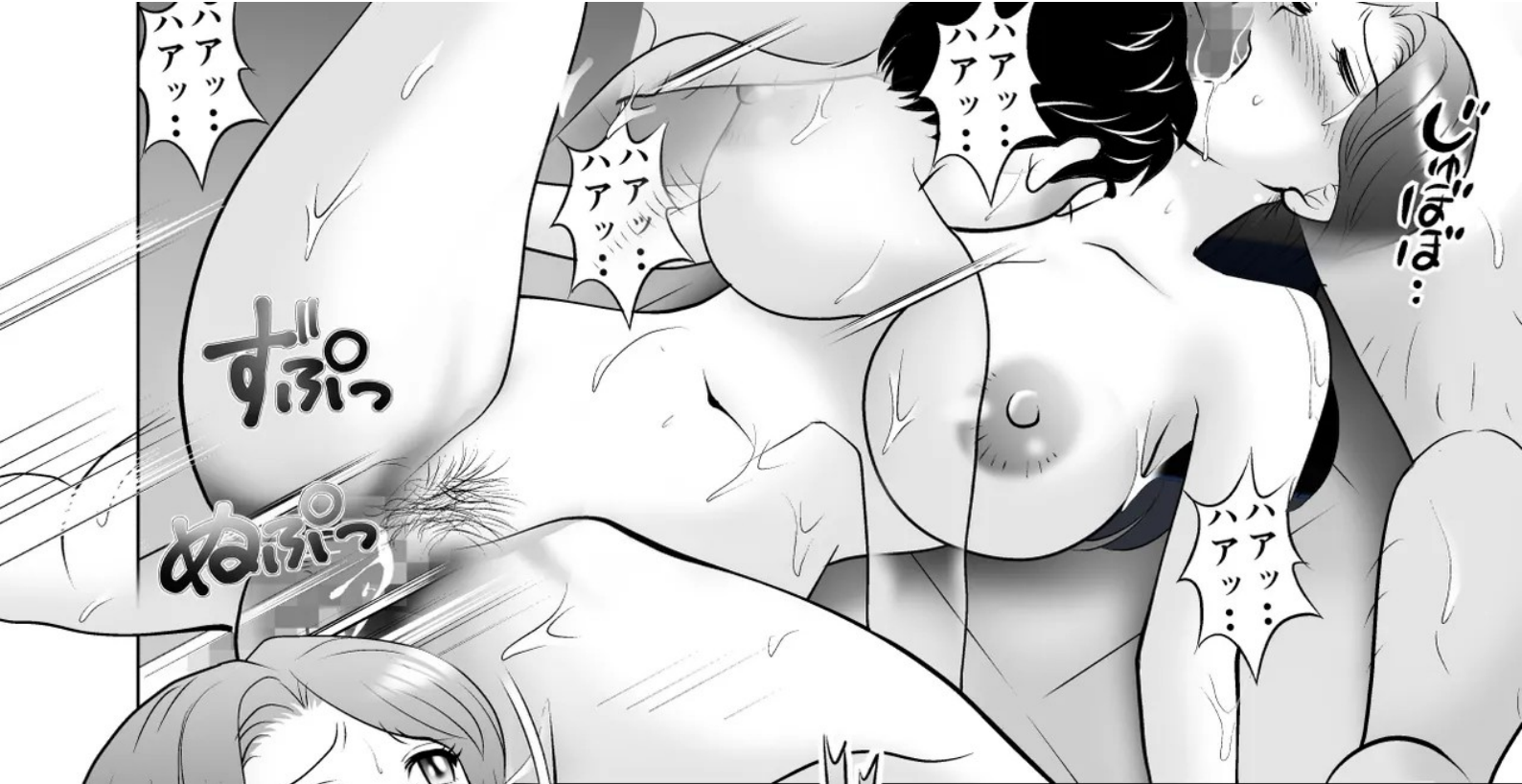












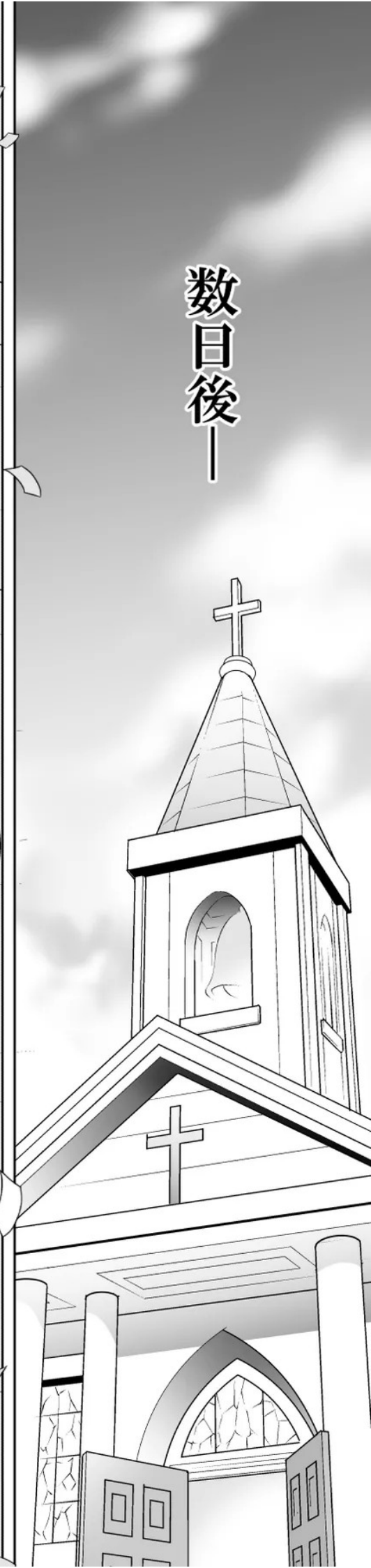


こめんなさい  
清さん：

私：  
幸せよ……



数日後――









早くしないと…

計算合わなく  
なっちゃうから…ネ…



*Fin*



この度はお買い上げ  
誠にありがとうございます。

この物語はフィクションです。  
登場する人物・ストーリーは  
実在のものと何ら関係ありません。

この作品を無断で複写・転載・販売することは  
禁止致します。

この後はおまけのカラーイラストです。

次回作も鋭意制作中です。  
またよろしくお願い致します。

三日月シャイン















